

事務事業評価シート

計画対象年度	令和元年度							
事務事業名	都市計画調整事業（政策）						事業類型	一般事務
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	都市計画法
			08	04	01	04	政策経費	
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり						総合計画対象	対象
	(1) 適正な土地利用の推進						市民協働	行政主体
	1 土地利用						担当課係等	都市整備課
⑦都市計画の推進						都市計画担当・開発担当		
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部 (D0)

【目的】 ・特色あるまちづくりを推進するため、都市計画の審議・調査を行い、必要に応じ見直しを行っていく。 ・開発行為事務に係る各種研修会に参加し、職員のスキルアップ及び近隣の事務処理市との意見交換を行う。	【関連事業】 なし	
【期待される効果】 ・研修会に参加し職員のスキルアップを図ることによって、より高度な市民サービスに繋がる。 ・権限移譲に伴い市の現状を把握し都市計画を見直すことによって、特徴ある街づくりが出来る。	【対象者】 全市民	
【全体概要】 本事業は平成21年3月に都市計画の指針として策定した都市計画マスタープランの改定と人口減少や少子高齢化に対応するため「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考えを実現する立地適正化計画の策定及び都市計画に係る調査事務、課員のスキルアップに必要な経費である。	【特記事項】 都市計画マスタープラン改定及び立地適正化計画策定を平成30年度から令和2年度の3年間で行う。	
【平成30年度 事業内容】 都市計画図修正業務委託 都市計画に関する事務 都市計画マスタープラン改定及び立地適正化計画策定業務委託 (H30. 31. 32) 神立駅周辺準防火決定業務委託 開発許可に関する研修	【令和元年度 事業内容】 都市計画に関する事務 都市計画マスタープラン改定及び立地適正化計画策定業務委託 (H30. R1. R2) コンパクトシティ研修 開発許可に関する研修	【令和2年度 事業内容】 都市計画に関する事務 都市計画マスタープラン改定及び立地適正化計画策定業務委託 (H30. R1. R2) コンパクトシティ研修 開発許可に関する研修

■ 事業費

		H30年度	R01年度	R02年度
財源	国庫支出金	1,647	4,155	4,477
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	8,961	9,360	12,593
歳入計（千円）		10,608	13,515	17,070
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	13 委託料	10,530	13,354	16,896
	19 負担金、補助及び交付金	78	161	174
歳出計（千円）（A）		10,608	13,515	17,070
（参考）		当初予算額	14,518	当初予算額
職員人工数		2.75	2.75	2.80
職員人件費（B）		20,672	21,318	21,852
総事業費（A）＋（B）		31,280	34,834	38,922

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動	開発許可等連絡調整会議地域別分科会への出席	回	目標	12.00	12.00	12.00
	懸案事項や審査会案件の協議		実績	12.00	12.00	0.00
指標	国、県等の開発に係る研修会への参加	回	目標	3.00	3.00	3.00
	職員のスキルアップを図る		実績	3.00	3.00	0.00
成果	近隣事務処理市との情報交換	回	目標	12.00	12.00	12.00
	近況や各市が抱える問題や疑義の相談等		実績	12.00	12.00	0.00
	課内勉強会の開催	回	目標	48.00	48.00	48.00
	相談に対する回答の確認や法の解釈の確認等		実績	52.00	48.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画及び都市計画マスタープランに基づき事業を推進している。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 都市計画の誘導には多くの利害が発生するため、行政が事業を行うべきである。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 各種研修や会議への参加、先進地への視察等を行うことにより職員のスキルを高めることはできる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 廃止・休止することにより、有効な土地利用の誘導が困難になり、市民への影響は多大である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似事業はないが、公共施設等マネジメント等と調整を図り、より良いまちづくり計画ができる。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 現在、取り組んでいる計画策定は、市民及び有識者の協力を得ながら、必要最低限の事業費で実施している。また、成果を低下させることはできないため人件費も削除余地はない。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 関係法令等に基づき事業を遂行している。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	当該事業には専門的な知識及び経験が必要であるため、研修等による人材育成及び専門知識を持った人員の確保は必要不可欠である。また、都市計画は今後のまちづくりにおいて大変重要なことから、庁内の連携を十分に図るとともに、近隣市町村とも定期的な情報交換、先進地視察等により、人口減少を見据えたまちづくりを進める。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：都市整備課長 大久保昌明
改革・改善の具体的な内容（改革案・実行計画） 開発行為に係る認可等の事務処理については、引き続き自己練磨を重ねスキルアップを諮り、公平公正な判断運用に努められたい。また、コンパクトシティ化への計画策定に向けて庁内連携を図り進められたい。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：都市産業部長 鈴木芳明
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 少子高齢化が進むなか、人口減少を見据えたコンパクトシティ・プラス・ネットワークの実現に尽力されたい。		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和元年度							
事務事業名	神立駅周辺整備事業（政策）						事業類型	負担金
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	都市計画法
			08	04	01	09	政策経費	
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり						総合計画対象	対象
	(1) 適正な土地利用の推進						市民協働	行政主体
	1 土地利用						担当課係等	都市整備課
① 中心市街地の整備								市街地整備担当
事業期間	期間限定複数年度（平成24年度～令和3年度）							

現状把握の部 (D0)

【目的】 駅前広場整備と県道の拡幅等（新名称：神立駅前西通り線）により、渋滞緩和、歩行者の安全確保、商業環境の向上や利便性を図り、合せて駅舎の橋上化を図ることで都市機能の充実を図る。	【関連事業】 街路整備事業（都市計画道路 神立停車場線）	
【期待される効果】 駅前広場を含む交通節点機能を向上させることにより、交通渋滞緩和及び歩行者空間を確保することによる通勤・通学者の環境機能向上並びに商業環境の発展を図り、土地の有効活用と都市機能の充実を図る。	【対象者】 全市民	
【全体概要】 本事業は、神立駅周辺整備を目的に平成22年度に設置した土浦・かすみがうら土地区画整理一部事務組合の土地区画整理事業に係るかすみがうら市分の負担金である。	【特記事項】 全体面積2.2ha（当市0.9ha 土浦市1.3ha） 事業認可期間 平成23年度～令和3年度 ※H29.2期間変更 東西自由通路全面供用開始（H31.3） 橋上駅舎全面供用開始（H31.3） 西口自転車駐車場の整備（R1 土浦市・かすみがうら市） 都市計画道路神立停車場線暫定供用開始（R2.3.26）	
【平成30年度 事業内容】 移転補償、宅地造成工事、埋設物移転、神立駅自由通路・駅舎橋上化整備 等	【令和元年度 事業内容】 移転補償、都市計画道路・区画道路整備工事、駅前広場整備工事、宅地造成工事 等	【令和2年度 事業内容】 移転補償、都市計画道路・区画道路整備工事、駅前広場整備工事、宅地造成工事 等

■ 事業費

		H30年度	R01年度	R02年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	423,752	207,980	199,318
歳入計（千円）		423,752	207,980	199,318
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	19 負担金、補助及び交付金	423,752	207,980	199,318
歳出計（千円）（A）		423,752	207,980	199,318
（参考）		当初予算額	288,691	当初予算額
職員人工数		0.15	0.40	0.55
職員人件費（B）		1,128	3,101	4,293
総事業費（A）＋（B）		424,880	211,081	203,611

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動指標	活動指標 1	回	目標	20.00	20.00	20.00
	関係機関との協議回数		実績	21.00	22.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	成果指標 1	%	目標	100.00	100.00	100.00
	計画の進捗状況（年度毎） ※負担金に対する執行率（事業費／負担金）		実績	97.34	49.21	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部（SEE）

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市総合計画及び都市計画マスタープランに基づき事業を推進している。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 当市の玄関口として、重要な神立駅周辺の活性化や都市機能充実を図っている。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 神立駅の将来像に対し、利用者の立場になり多方面から検討し、より使いやすい駅になるよう、関係機関と連携し事業推進を図る。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 事業の廃止・休止等を行うことにより、事業目的である渋滞緩和や歩行者の安全確保等の都市機能の充実が図れない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 神立駅周辺という立地や公共施行による区画整理事業、また、土浦市と当市で一部事務組合を設立し事業を推進しているため。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 神立駅周辺の都市機能充実を図るために必要な事業のため、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 神立駅舎を含め周辺の渋滞緩和や歩行者の安全確保の整備を行っている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	継続して、土浦市や関係機関と連絡調整を図り、より良い神立駅周辺の整備を図る。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：都市整備課長 大久保昌明
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 常に事業計画内容（スケジュール）の管理を行い状況を把握し事業推進を図りたい。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：都市産業部長 鈴木芳明
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 事業認可期間を見据え、事業の早期推進を図りたい。		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和元年度							
事務事業名	街路整備事業（政策）						事業類型	施設等整備
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令 都市計画法
			08	04	83	03	政策経費	
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり						総合計画対象	対象
	(1) 適正な土地利用の推進						市民協働	行政主体
	1 土地利用						担当課係等	都市整備課
①中心市街地の整備								市街地整備担当
事業期間	期間限定複数年度（平成25年度～令和元年度）							

現状把握の部 (D0)

【目的】 神立駅前広場からの調和のとれた魅力的な都市環境を造り、円滑な交通導線の確保と快適な生活環境形成を図り、且つ、防災の面からも支援する。	【関連事業】 神立駅西口地区土地区画整理事業
【期待される効果】 都市計画道路神立停車場線は、神立市街地の主要幹線道路に位置付けられており、本路線を整備することで、県道戸崎上稲吉線などの神立駅に至る交通渋滞の緩和、本路線沿道の商業的土地利用を促し、市街地の活性化を図る。また、神立駅西口土地区画整理事業と一体的な整備を行うことで、都市機能の向上を図り、賑わいのあるまちづくりの形成に寄与できる。	【対象者】 全市民
【全体概要】 本事業は、神立駅西口地区土地区画整理事業に伴い、周辺の広域的な道路体系の確立を図るため、平成25年度から事業認可を受け、都市計画道路神立停車場線を整備するものがある。また、市民の憩いの場として本路線沿道にポケットパークを2箇所整備する。	【特記事項】 都市計画決定 昭和38年3月30日 事業認可決定 平成25年7月29日 事業認可期間 平成25年7月29日～30年3月31日 都市計画道路神立停車場線が平成30年度完成予定。 平成30年4月から建設部道路課へ所管替えとなる。 令和元年度にポケットパーク整備工事を実施し事業が完了するため、令和2年度の事業計画は無いものとする。
【平成30年度 事業内容】 都市計画道路（神立停車場線）の道路改良工事を実施する。 （平成30年度より道路課が工事を所管） ポケットパーク整備工事（1箇所）を実施する。	【令和元年度 事業内容】 ポケットパーク整備工事（1箇所）を実施する。
	【令和2年度 事業内容】

■事業費

		H30年度	R01年度	R02年度
財源	国庫支出金	129,575	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	153,128	10,790	0
	歳入計（千円）	282,703	10,790	0
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	08 報償費	32	0	0
	11 需用費	100	0	0
	12 役務費	17	17	0
	13 委託料	8,376	499	0
	15 工事請負費	273,473	10,274	0
	16 原材料費	428	0	0
	22 補償、補填及び賠償金	277	0	0
歳出計（千円）（A）	282,703	10,790	0	
（参考）	当初予算額	52,134	当初予算額	12,681
職員人工数	0.85	1.55	伸び率(%)	決 皆減 予 皆減
職員人件費（B）	6,390	12,016		12,097
総事業費（A）＋（B）	289,093	22,806		12,097

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動指標	活動指標 1	回/年	目標	5.00	3.00	0.00
	付帯設備協議		実績	5.00	4.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	成果指標 1	%	目標	50.00	100.00	0.00
	付帯設備（ポケットパーク等）整備進捗率		実績	50.00	100.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部（SEE）

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画 第3編前期基本計画-第3章施策の展開-基本目標3《都市基盤》マスタープラン 第4章都市整備構想-1 土地利用の方針
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公共・公益施設整備の街路整備事業のため、妥当である。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 街路整備事業に併せて、神立停車場線沿線の用途地域を変更したことにより、新たな土地利用が期待され活性化が図られる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input type="checkbox"/> 影響がある <input checked="" type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 事業終了。今後は神立駅周辺整備事業などにおいて、神立停車場線を軸とした中心市街地の賑わい創出を図る。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 事業終了。神立駅周辺整備事業など、土浦市及び神立一部事務組合と連携を図ることにより、中心市街地の賑わい創出が図れる。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 事業終了。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公共・公益施設整備の街路整備事業のため公平・公正である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	街路整備としては事業終了となるが、今後は神立駅周辺整備事業など、立地適正化計画に掲げた中心市街地の活性化や持続可能な都市の実現に向けた施策を実施する。
	1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持） 記者：都市整備課長 大久保昌明 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 本市のシンボル軸として、新たな魅力の創出や沿道の土地利用による地域活性化を図りたい。	
	2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持） 記者：都市産業部長 鈴木芳明 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 神立停車場線の沿道施設のデザイン性向上や公共空間を活用し、市民が居心地良く歩くことのできる空間形成を図りたい。	